

令和6年9月20日発行

- 第28号 -

とも たの 偕に楽しむ

初夏の会津研修旅行！ 実り多い旅になりました！



昨年好評だったバスで行く研修旅行の第2弾。今年は会津鶴ヶ城と御薬園を巡りました。5月28日(火)、雨の降る中でしたが34名の参加がありました。7時30分定刻に千波湖西駐車場を出発しました。バスの中では 現在常陸太田市郷土資料館館長の市村眞一先生から会津若松と水戸との関係について講話がありました。

11時10分、鶴ヶ城会館に到着。2班に分かれ、現地のボランティアガイドさんに鶴ヶ城を案内して頂きました。残念ながら雨で視界が悪いため城内の展望台には登りませんでした。城をバックにして記念写真を撮り、石垣など園内の散策をしました。早めに鶴ヶ城会館に戻り、昼食を取り、少し休憩。お土産などを見て回りました。

その後、バスで御薬園に向かいました。園内には珍しい薬草も多くあり、限られた時間でしたが、興味深いお話を伺うことが出来ました。園内には楽寿亭と呼ばれている茶室があります。好文亭の楽寿楼と似た名称ですが、創建は1696年とのこと。

次は、飯盛山にあるさざえ堂へ。2重螺旋のスロープは、上りと下りが全く別の通路になっている一方通行の構造になっていて、世界でも珍しい建築様式です。

定刻より少し早く水戸に着きました。雨にも負けず、実りの多い楽しい研修旅行でした。



令和6年度定期総会・講演会の報告



水戸の中世の城について
興味深いお話をされる関口慶久氏

今年度の定期総会は、4月16日に昨年と同じ県立歴史館講堂で開催されました。コロナが第5類扱いとなり座席配置を平常に戻した中、68名の会員、来賓6名の参加者があり、会場は賑わいを感じる程でした。林和男副会長の司会で定刻に始まった総会は、三ッ石敏会長の挨拶に続き、来賓の高橋靖市長からは梅まつりに多くの人流が生じたこと、教育遺産の世界遺産登録では暫定リストの公募がないため進まないこと、今後文化財の利活用の観点から若者が集う利益を生み出す事業が必要であることなどに触れるご挨拶をいただきました。その後、三ッ石会長の議長

で議事に入り、第1号議案令和5年度事業報告、第2号議案令和5年度決算報告に続き、監査報告がありいずれも承認されました。次に第3号議案として役員改選の件が審議され、3月5日の役員会で作成した役員案が承認され、新任の副会長、理事、監査の方々が皆さんの前で紹介されました。続いて令和6年度事業計画及び令和6年度予算案が審議されいずれも、滞りなく承認され議事は終了しました。

引き続き講演会が水戸市教育委員会の関口慶久氏を講師に「水戸の城さんぽ(拡大編)」という演題で行われました。関口氏には多数の写真資料を用意していただき、茨城県中世城館調査の概要をはじめ、中世からの土でできた城についての基礎知識から、地元の水戸周辺に点在する特徴的な城についてお話をいただきました。想像以上に多くの城が存在していたことに驚くとともに、当時の人々の様子に興味関心が湧くのを感じました。

事務局長 後藤 克己

「偕に楽しむ」春のウォーキング～桜川緑地を巡る

5月18日(土)好天の中、桜川緑地をコースに「『偕に楽しむ』春のウォーキング」を開催いたしました。参加者は27人でした。このコースは過去にも実施されましたが、全3.7kmと当時より距離が長く、ルートも変化があり、新緑を楽しみながらのウォーキングとなりました。桜川沿いに歩くコースでしたが、古来より台地部分から桜川に流れ込む湧水帯をハケと称し、この道筋を「ハケの道」と呼ぶそうです。折り返しにあたる矢の目橋付近では、桜川の川底に岩盤が見られました。縄文海進(4千年前)によってできた河川浸食の跡だそうです。



桜川緑地を歩きながら
偕楽園公園の魅力を考えました

終了後の参加者アンケートでは、8割の方が「コースの距離はちょうどよかった」との回答がありました。また、「豊かな自然が楽しめた。」「もっと多くの市民に知って欲しい場所。」「トイレ、表示板などが整備されるとよい。」「世界に誇れる公園の延長部分としてもっとアピールすべき。」などの感想・提案が寄せられました。ひとりの脱落者も無く、予定どおりの時間に四季の原に戻り、参加者全員が木陰でお弁当をいただき、和やかなひと時を過ごしました。偕楽園本園を離れた公園区域ではありますが、豊かな緑に恵まれた桜川緑地は、偕楽園の魅力の一つに数えても良いと思います。

魅力向上委員会 林 和男

偕楽園の紅梅を用いた梅染めワークショップ開く

～本会会員が講師を務める～

5月3日(金・祝)、水戸の中心市街地を会場にして「水戸まちなかフェスティバル2024」が5年ぶりに開催されました。本会からも水戸・偕楽園の魅力をもっと多くの市民に知ってもらおうという目的で、花パートナー部を中心に10名の会員がワークショップを開きました。偕楽園の紅梅で染めた生地を用いたアクセサリー(ブローチ)づくりは、大人気で、参加者もその出来栄にたいへん満足していました。本活動を通して、市民の方に改めて偕楽園の魅力について紹介できたと思います。



水戸フェスで梅染めのワークショップは大人気でした



偕楽園内で梅染め、水洗いの場面

また、8月3日(土)には、偕楽園公園センター主催の「偕楽園の梅を使ったワークショップ」が本園内(作業所前広場)で開催され、本会から9名の会員が梅染めの講師・インストラクターとして参加しました。午前・午後計40名の参加者があり、このうち本会員は午前中の部を担当しました。今回の梅染めは、染めと媒染を2回行う本格的な技法で、ややピンク系にしっかりと染まった「梅色」の色合いが特徴です。参加された方には梅染めの美しさを十分味わっていただくと同時に、偕楽園を創設した徳川斉昭公の梅に対する深い思いについて伝えられたと思います。今回のワークショップは、花パートナー部を中心とした会員が事前に梅染めやつまみ花のアクセサリーづくりの研修しておりますが、早くもその成果が出せました。

魅力向上委員会 林 和男

「みと 現時点でとらえた水戸の過去と将来」(昭和45年発行)と梅細工

本書は、かつて水戸を紹介するタウン誌「みと・プロムナード」の編集者だった空子朱明(もくししゅめい 本名一郎)氏が「水戸の観光に関するもっと人間的な案内書が、しかも総合的なものが一冊位あってもいいのではないか」(前書きから)という考えのもとに企画・編集・発行したものです。

明治から昭和40年代にかけて、水戸市内中心街の町並み(商店・会社等)、歴史的遺構、建築物(寺社仏閣)、郷土みやげなどを写真・図版付きで丁寧に紹介されています。

特に、偕楽園については、25ページを割き、同園を創設した徳川斉昭公の構想を詳細に解説しています。また、水戸の工芸・みやげ品紹介の項では、おなじみの「水戸の梅」「のし梅」「吉原殿中」「水戸の梅干」「水戸の銘酒」「農人形」「水府提灯」などが写真とともに取り上げられています。さらに「梅細工」について記載があります。

現在では見あたらない「梅細工」について、その起源や技法を丁寧に解説しており、たいへん興味深い内容です。偕楽園の剪定枝を用いた「梅染め」の研究をしている当会としては「梅細工」についても今後調査研究を進めたいところです。明治期に水戸で始められた梅細工は、水戸の代表的な工芸品として永らく販売されており、多くの文献にその記述があります(水戸市立博物館では梅細工2点を所蔵)。本書は、著者が発刊の際に述べているように、水戸について「人間的な目で網羅的に把握」する手がかりになる絶好の図書ではないでしょうか。

魅力向上委員会 林 和男



「みと」の表紙

会員紹介

NEW

今回から普通会员、特別会員を問わず、毎号1～2名の会員を紹介していきます。自己紹介と偕楽園公園さらには当会への思いを寄せて頂きます。記念すべき第1回は、萩谷茂さんと鯉沼千加子さんです。

萩谷 茂さん



よろしくお願いします!

今年度より役員を仰せつかりました萩谷茂と申します。昭和33年生まれで企業勤めを終え、63歳の時にセカンドキャリアとして現在JAグループ茨城の広報を中心とした仕事をしています。自分でも兼業農家として田畑を持ち、米と野菜を育てています。また趣味の写真を活かし動画を使って茨城の食と農、後継者問題、環境問題を少しでも改善しなければと仕事をしています。

以前の仕事で都市開発関連をテーマにしていたこともあり、地元に戻ってから水戸市という街をさまざまなことから気にするようになりました。市の中心にある偕楽園公園は多くの可能性と課題を抱えているように思えます。市民側の目線でより良い方向に向けていければと思っております。

鯉沼 千加子さん



皆様もご参加ください!

私は当会前会長である父 湊正雄の熱意あふれる活動に感銘を受け入会いたしました。私にとって偕楽園は幼い頃から大変身近な存在です。観梅の賑わいに心躍らせ、初夏の青い芝生の上で家族とお弁当を広げたことは良い思い出です。萩まつりの写生大会には友達と参加しました。そして成人した今もなお、石州流茶道水戸何陋会の一員として茶会を催すために好文亭や園庭に幾度となく足を運んでいます。

現在は市の施設にてヨガ講師を17年間務めてきた経験を生かし、毎月「朝活@偕楽園公園ヨガ&ポスチャーウオーキング」と称して自主ボランティアをしながら偕楽園公園の魅力を発信しています。偕楽園公園は美しい自然と歴史を持つ場所であり、私は「多くの市民がこの素晴らしさを再発見し、その誇るべき文化的な遺産を偕に守っていくことが重要」と考えています。

当会には今後もより多くの人々が参加できる企画の開催を期待します。地域社会の活性化、ひいては文化の伝承や保護の意識を高めることに繋がることを願います。

能登半島地震 義援金を送りました

今年1月1日に発生した能登半島地震では、大名庭園民間交流協議会メンバーでもある金沢城・兼六園も被災しました。総会で義援金を呼びかけたところ 33,255円が集まりました。当会と金沢城・兼六園研究会とのこれまでの交流を踏まえ、義援金(寄付金)として石川県に併せて10万円を送金しました。

発行機関	金沢城・兼六園管理事務所
納付金額	¥100,000円
納期限	令和 6年 6月27日
納付理由	寄付金
発行年月日	令和 6年 6月17日
上記金額を納期限迄に納付して下さい。	
金沢城・兼六園管理事務所長	

委員会だより

花パートナー活動報告

令和6年度今年の花パートナーは2名が加わり19名での嬉しいスタートになりました。4月10日第一回の活動日、冬の花の整備や除草、春の花の準備など花好きな仲間との作業は会話も弾みます。8月の猛暑での作業は短時間とし夕方に害虫駆除や給水をし、何とか維持出来ました。今後は夏にも強い花を育てるべきか検討しています。この花壇の活動を始めて約14年となり先輩方が長い時間と労力を費やされ、土も肥えて花ばなも元気に咲いています。夕方の公園には愛犬と散歩する方が、花に集まる蝶や昆虫観察に立ち寄って頂いてます。風に揺れる四季の花を見ると、育てた喜びと癒しさを感じます。今後も魅力ある花壇を育てていきたいと思ひます。



花壇のお手入れ、ちょっと休憩

魅力向上委員会 花パートナー 担当 大森 とみ代

朝活@偕楽園ヨガ&ポスチャーウォーキング



皆さんの歩く姿勢が素晴らしい!

毎月第3土曜日、朝6時半から窈窕広場で開催する「朝活」は、令和6年9月で7年目の活動になります。成果報告として、参加者数の増加と偕楽園公園への関心の向上が挙げられます。数年間には毎回参加者が10名にも満たない状態でしたが、現在では安定して20名以上の方々にお集まり頂くまで成長しました。参加者からは「偕楽園に来る機会が増えて嬉しい」「花壇をはじめ、公園の維持管理に興味を持つようになった」という声が寄せられています。

その結果、新たに「偕楽園公園を愛する市民の会」にご入会くださった方々が複数名いらっしゃいます。今後もこの活動を継続し、より多くの市民に偕楽園公園の魅力を再発見して頂き、健康で活力ある地域づくりの一助となることを目指して参ります。

魅力向上委員会 ヨガ・ポスチャーウォーキング 担当 鯉沼 千加子

偕(とも)に学ぶ～弘道館やさしい論語塾

弘道館の至善堂で開催中の論語塾は小学生のお子さんから年配の方まで幅広い年代の方にご受講いただいています。以前、小学生のお子さんがご自分の好きな章句を読んできた事がありました。静かな至善堂に元気で明るい声が響きわたり、清々しい空気が流れたのと同時に、自然に大人の方から拍手が沸きました。弘道館の四季折々の自然の豊かさを感じながら大人も子どもも一緒に論語を素読し、学び、触れ合える機会は貴重です。今年度の授業も講師の小坪のり子先生と小堀優先生に丁寧に分かりやすくご指導いただき、早くも後半になりました。なお、安岡定子先生の特別授業は8月17日に開催する予定でしたが台風の影響で延期となりました。



4月には開校式が行われました

論語委員会 鈴木 律子

これからの行事案内

大名庭園サミット 彦根大会のお知らせ

今年度のだ名庭園サミットは、11月21日～22日に彦根市の玄宮園で開催されます。

彦根市は水戸市の親善都市で、名門井伊家が知行したところでは、水戸市と彦根市は、安政の大獄や桜田門外の変以来の歴史的なわだかまりをこえ、敦賀市の仲立ちにより、昭和43(1968)年10月、親善都市となりました。以来、観光交流をはじめとして、各分野で親善が図られています。千波湖の白鳥は、もともと、彦根市から友好のしるしとして贈られたものです。



交流委員会 岡野 一紀

紅葉狩りウォーキング&偕に楽しむ集いのご案内

交流委員会

日時：令和6年11月17日(日) 10時～14時 受付9時30分～

集合場所：偕楽園公園センター

コース：窈窕広場～西の谷～偕楽園本園～もみじ谷(予定)

募集人数：40名(先着順) 参加費：600円(お弁当と保険を含む)

問合せ・申し込み：三ッ石まで(TEL：090-8563-5181 E-mail：mitsusat@ybb.ne.jp)

お名前、ご住所、連絡先、年齢をご連絡ください。

会員募集のお知らせ

偕楽園公園を愛する市民の会では会員を募集しています。入会をご希望の方は事務局までご連絡ください。

年会費振込のお願い

偕楽園公園を愛する市民の会は、会員の皆様の年会費に支えられています。年会費は下記のいずれかの口座へ振込をお願いします。振込にかかる手数料はご負担ください。

郵便振替

常陽銀行

口座番号 00170-4-536139

口座番号 本店営業部(004) 普通 2737737

加入者名 偕楽園公園を愛する市民の会 口座名義 偕楽園公園を愛する市民の会 会長 三ッ石 敏

編集後記

◇今回から編集委員が変わりました。皆様の声を取り入れて、より良い会報になるように努力したいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。(H)

◇自然災害が多い年となっています。会の活動を通して改めて自然との共存を考えて行きたいと思います。(M)

偕楽園公園を愛する市民の会 事務局

住所：〒312-0041 ひたちなか市西大島3-14-9 TEL：090-8563-5181/FAX：029-272-8303

発行：偕楽園公園を愛する市民の会 ホームページ：www.kairaku-en.jp

※当会へのお問い合わせは事務局まで